

# 16. 農家暖房改善に関する基礎的研究（第5報）

## 改良いろり式暖房について

東北大 大谷 史郎

1. 第3報では、従来の「いろり式採暖」について、主として暖房効果の点についてのべた。本報は、比較的新しい型の「改良いろり式暖房」について、排気を直接農産物の乾燥に利用する、薪ストーブ→こたつ→乾燥室組合型の事例をとりあげ、測定、調査を行い、実際に使っている状態を明らかにし、簡単な熱精算を行って、本暖房方式の総合的評価の基礎資料を得ようとした。

2. 実際の使用状態を明かにするための調査および測定、熱精算を行うに必要な資料の測定（ストーブ、こたつ、乾燥室の排気温、各室の温湿度、燃焼ガス分析等）環境衛生学的項目（空気中の有害ガス等）について測定実験を行った。

3. 本方式（薪ストーブ→こたつ→乾燥室）は、従来捨てられていた薪ストーブの排エネルギーを、こたつの熱源として再び有効に利用し、さらに、こたつの排気を直接乾燥室にぬくことにより、排ガスの持つエネルギーを全部有効に利用するもので、総合熱効率是非常に高い。

熱効率の点のみでなく、使い方、その他の面を総合して将来性のある暖房型式と考えられる。